

第3回 日光街道ウォーク

1. 日時: 平成27年10月2日(金)
2. 集合: 東武スカイツリーライン 武里駅東口 10時00分(最終決定は、5時30分一斉メール)
3. 持参: 弁当、飲み物、敷物、雨具、帽子、氷水、タオル、着替、保険書、常備薬、その他各自準備品
4. 予定行程: 武里～杉戸間 12.4Km 各自体調により参加場所、リタイヤ場所、懇親会参加等自由
5. 実行行程: 武里～杉戸間
6. 連絡: 清水 固定: 04-7120-1500 携帯: 090-3472-2171

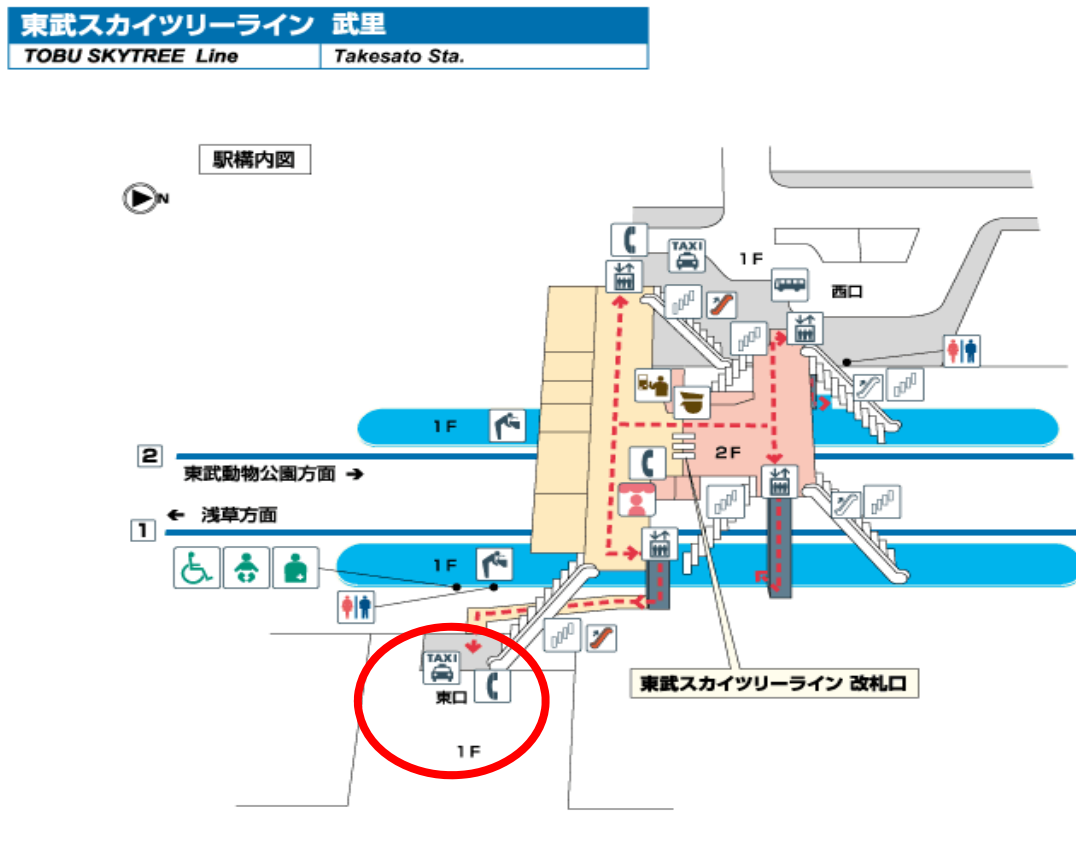
shimizu201500@arion.ocn.ne.jp

7. 参加: (敬称略) 川船、高尾、杉澤、若生、松浦、関根、清水

8. 集合場所案内図

出典: 東武鉄道

<http://railway.tobu.co.jp/guide/station/insidemap/1503.html>



9. 資料: 出典【五街道の旅】
<http://home.b05.itscom.net/kaidou/index.html>

出典【地図でたどる日光街道】

<http://tochigikanko.web.fc2.com/niko-dochu/chizu-top.html>

五街道のルート



五街道に接続する脇往還





21. 八坂神社～小湊

[illegible]

22 春日部宿～杉戸宿

埼玉県春日部市 埼玉県杉戸町

小淵～本郷

(歩行距離 1708m 21分)

歩く地図でたどる日光街道

<http://nikko-kaido.jp/>

JZE00512@nifty.ne.jp

北緯36°地球儀

すきすきすぎーと36

暮らしと道の保りを意識してもらいために、北緯36度線と国道4号線との交差する地点に設置した休憩所で、杉戸町のウエルカム・モニュメントとして親しまれています。名称は公募され、町内の中学生のものが採用されました。訪れた人々に杉戸町をPRできるように町の位置や歴史などが表示された案内板も設置されています。



杉戸町に入る

このあたり「ふどう院」跡。「西の方へ二丁程に不動院と云修験の寺あり。寺領百石。境内1里半古利根川に傍(そい)で林あり。日本十六ヶ寺の内にて、修験の蹟なり。余程の大地にて昔は水府公の邸宅を内裏に迎えしとなり。後に幸すの不動院とはいへど、和名の宿はつれに、大門は往還に出て並木あり」(日光駅見聞録)とあり観音院の西、古利根川沿いの500m四方の大寺であったが、その面影はない。所在不明で推測。

北春日部駅へ 1184m 15分

東武鉄道北春日部駅

昭和41年(1966)に開業。春日部市の北部に位置し、埼玉県南埼玉郡宮代町の境界に接している。駅名の由来は、隣の春日部駅の北部に新設されたために「北春日部」と名付けられた。駅外には春日部と名の付く地名も見当たらず、「新設」という感じの駅名です。



16号線の交差点を過ぎる

国道16号(通称、東京環状)

神奈川県横浜市区西区を起・終点とし、首都圏を環状に結ぶ一般国道である。国道16号は東京近郊を環状に結ぶ数少ない道路であり、神奈川県横浜市、相模原市、東京都八王子市、埼玉県川越市、さいたま市、千葉県柏市、千葉市といった都市を結ぶため日中は交通量が非常に多く、流れの良くない区間が多い。保土ヶ谷バイパスなどでは朝のラッシュ時に全線に渡る渋滞が頻発する。

車線数は片側2車線区間が大部分を占め、保土ヶ谷バイパスなど片側3車線区間も一部存在する。しかし、埼玉県入間市にバイパスとして整備されていない片側1車線区間が僅かながら存在する。第七通りや第八通りと共に、東京都心部よりの距離を表す基準になっている。

埼玉県
杉戸町

杉戸宿(すぎとじゅく)

日本の近世にあたる江戸時代に整備され、栄えていた宿場町の一つ。

日光街道の江戸・日本橋から数えて5番目の宿場である。

古くから利根川(現・古利根川)の渡し場があり、日本武尊が東征を行った際にこの付近に上陸し、そこが杉の木が茂る港(水門)であったことから杉門と名付けられたとする伝説がある。

宿場自体は五街道の整備に伴い、1616年(元和2年)に近郊の町村を集めて成立した。宿場は街道に沿って町並みを構成し、5と10のつく日には六寄市が開かれ、近郊商賈の中心地となっていた。町中では新町・下町・中町・上宿に分かれ、それぞれに名主や問屋が置かれ、本陣・本陣はいずれも中町に置かれていた。1843年(天保14年)の改めによると、宿の往還は、長さ16町55間、道幅は5間、宿内家数365・人数1,663、本陣1・本陣2、旅館46(大4・中7)であった。

現在の町並みは、都市化の影響をさほど受けていないためか旧家も比較的良く残り、旧宿場町の面影を感じさせる。



芭蕉句碑

芭蕉の句碑

「も(も)のいへば 暮さむし 秋の風」



小淵観音院本堂



小淵観音院山門

小淵観音院

正嘉2年(1258年)に開基と伝えられる古刹で、正式名称は正覚寺。本尊は「ふとり観音」と呼ばれている聖観音。家内安全、商売繁盛、いほ、こふ、あざにご利益があるといわれている。7体の円空仏の中でも蔵王権現像はとて珍しい。

市内唯一の徳門(仁王門)元禄年間(1688~1704)に建立された。昭和47年に春日部市指定の有形文化財に指定されている。茅葺きの本堂は文政8年(1825)に再建。天井が格子天井になっており「百花園」が描かれている。



小淵の歩道橋

関宿道

関宿道は関宿城に通じる道。関宿の城下町として栄えたが、明治4年(1871)の廃藩置縣と明治以降の水運の衰退・消滅によって小都市としての独自性は失われた。関宿城の遺構は利根川や江戸川等の合流点付近に位置し明治以降に行われた河川改修のために保存状態が極めて悪く、元の武家屋敷等もあまり残されていないために、いわゆる「城下町」としての景観はない。



